

モニタリングレポート(平成28年度)

施設名	鈴鹿川河川緑地運動施設				
施設所在地	鈴鹿市庄野町1198番地の1外				
指定管理者名	中部安全サービス保障株式会社				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	357日	総利用者数	27,612人	1日当たりの利用者数	77人
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前7時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前7時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	4,300,000	4,300,000	0		
利用料金	0	0	0		
収入計	4,300,000	4,300,000	0		
人件費	2,500,000	2,569,138	69,138		
旅費交通費	50,000	282,920	232,920		
通信運搬費	0	0	0		
受信料	0	0	0		
消耗品費	100,000	695,458	595,458		
修繕費	500,000	292,558	▲ 207,442		
印刷製本費	0	0	0		
燃料費	150,000	68,467	▲ 81,533		
光熱水費	0	0	0		
賃借料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	0	0	0		
委託費	200,000	107,784	▲ 92,216		
本部管理費	300,000	583,041	283,041		
租税公課	272,700	168,000	▲ 104,700		
支出計	4,072,700	4,767,366	694,666		
収支	227,300	▲ 467,366	▲ 694,666		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	H28年7月から8月にかけて実施。安定した満足度を獲得している。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、適切に維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、いずれの点においても非常に安定した内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月次報告書の提出及び3ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。定例報告会において、発生した事案の詳細の報告や現状抱えている課題について情報共有を行い、安定的な施設の管理運営に努めている。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
台風16号の接近による大雨で河川が増水し、運動施設及び公園施設が全面で水没する被害に遭ったが、台風接近に備え、事前に流される危険がある遊具や簡易トイレなどの設備を移動させるなど、適切な対応を図り、被害を最小限に止めることができている。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、また、台風を含めた災害への危機意識はもとより自主的に施設内の遊具や備品等の修繕、施設整備を積極的に行う意識の高さで、利用者の利便性向上に日々努めている。また、台風による大雨で運動施設及び公園施設が水没被害に遭ったが、早期の復旧へ向け、自主的に可能な範囲で廃棄物の除去、施設や設備の修繕を実施するなど、現在までに培ってきたノウハウを存分に活かし、施設を管理運営している。			
施設の課題と対策			
平成28年度も台風の接近による大雨により河川が増水し、川に隣接する運動施設及び公園施設が水没する被害に遭った。施設が抱えるハード面での課題を劇的に改善させることは困難であるため、引き続き危機管理意識を高め、被害を最小限に抑える対応に尽力する必要がある。			
施設の方向性			
施設のニーズは年々増加傾向にあり、多種多様なスポーツの利用者が使用できる複合的スポーツ施設としても大きな役割を担っていることから、水害による影響もあるものの、今後も施設を維持していくことが非常に重要である。			